

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 29 日

茨城県知事 大井川 和彦殿



提出者 茨城県土浦市神立町650番地  
日立建機株式会社  
執行役副社長 田淵道文  
生産・調達本部長

電話番号 029-832-7275

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日立建機株式会社 土浦工場
事業場の所在地	茨城県土浦市神立町650番地
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2621（建設機械・鉱山機械製造業）
②事業の規模	製造品等売上高2,036億円
③従業員数	4,230人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

環境管理委員会の中で廃棄物処理計画と実績について審議、各部門は自部門の廃棄物発生量の抑制方法を検討、実行する。

- ・環境管理委員会：6回/年 開催
- ・委員長：CSR・環境推進部長
- ・メンバー：各部門環境管理員

管理体制図は別紙2の通り

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 表1の通り
	排 出 量	t
	(これまでに実施した取組) ・廃プラスチック有価化 ・部品塗装の下塗り廃止の拡大 ・部品洗浄廃液(アルカリ廃液)の中性化处理 ・塗装スラッジの減容化 ・木パレットの分別・再利用	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 表2の通り
	排 出 量	t
	(今後実施する予定の取組) ・木くず有価化 ・梱包資材の削減	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物は分別収集し、中間処理業者に委託処理する。 別紙4 廃棄物分別表 ・可燃ごみの一部を再生利用(固形燃料化)し焼却処分量を削減 別紙5 RPF 再資源可燃ごみ表 ・廃プラスチック類の一部をマテリアルリサイクル実施 別表6 有価廃プラスチック表
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類の中の保護具を分別し、リサイクルする

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
①現状	全 処 理 委 託 量	別紙7 表3の通り t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		別紙7 表4の通り
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

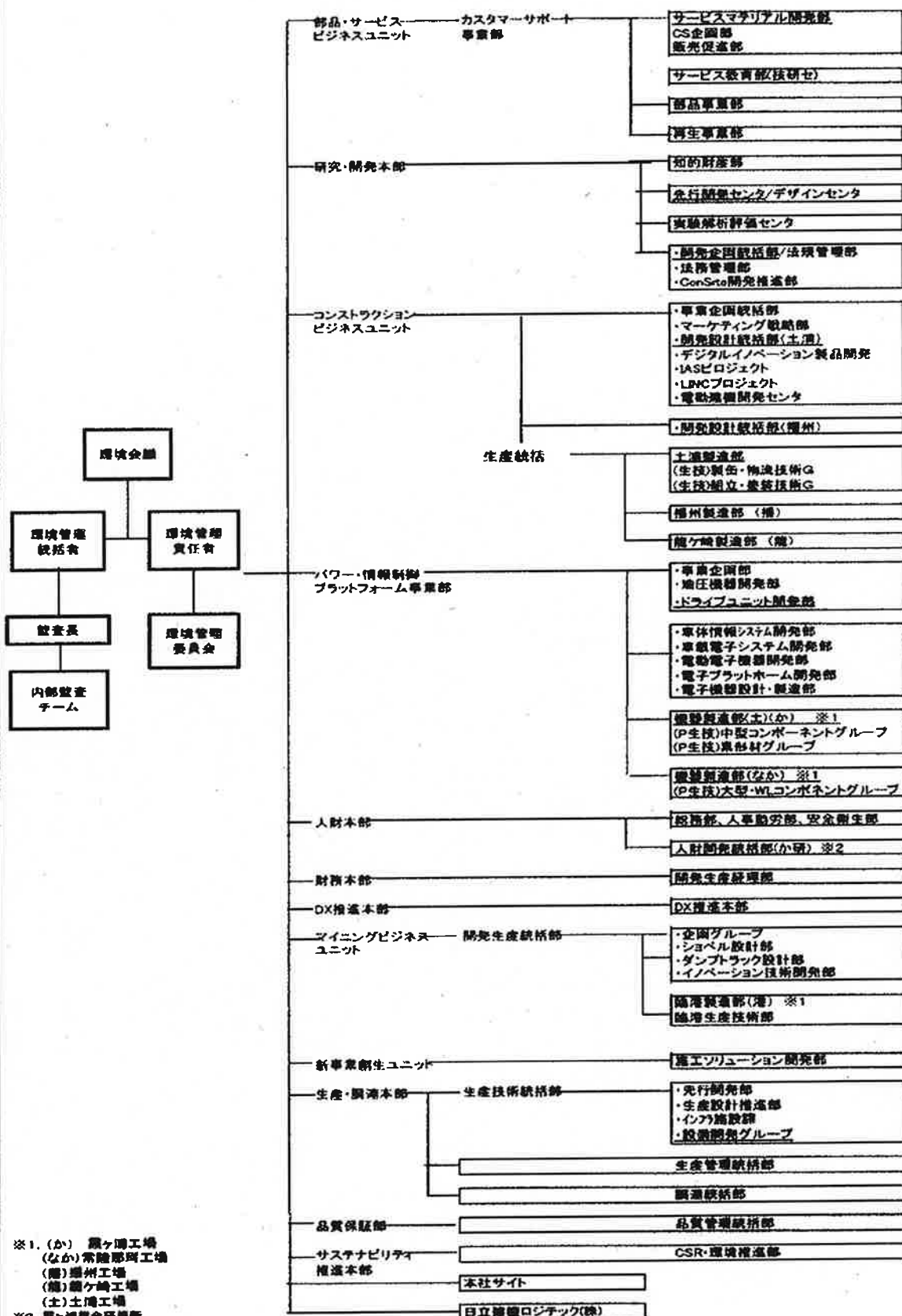
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

日立建機株式会社 土浦工場(霞ヶ浦工場、常陸那珂工場、常陸那珂臨港工場、龍ヶ崎工場含む)  
産業廃棄物の廃棄物処理系統図(利材/事業系一般廃棄物含まず)

産業廃棄物の種類	主たる構内排出元	中間処理業者	再資源化または再資源業者
汚泥	排水処理場 脱水ケーキ	→ セメント原料 焼成	セメント
	塗装 塗料スラッジ	→ 混練 (セメント原料として再生)	→ セメント会社へ
	清掃汚泥	→ 脱水/遠心分離等	→ 公共下水道
		水	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
廃油	製造・開発・試験 廃油 不凍液 廃塗料	→ 焼却炉助燃材に使用	助燃材
	製造 含油水 (水溶性切削液)	→ 油水分離	水
		油	→ 公共下水道
		残渣(汚泥)	→ 再生油
	排水処理場 スカム(油泥)	→ 油水分離等	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
		水	→ 公共下水道
廃プラスチック類	各職場 廃プラ (混合含む) OA機器 プリント基板等 油圧ホース	→ 焼却	→ 再生油
	荷受・組立 軟質系プラスチック (梱包材 /マスキング材等)	→ 焼却	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
	各職場	→ 破砕/選別	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
		金属類	→ 精錬所へ (燃料及び溶融化による路盤材再生)
廃酸/廃アルカリ	各職場 薬品類	→ 破砕/RPF製造	→ 固形燃料(RPF)として再生
		固形燃料(RPF)	
金属くず	各職場 乾電池	→ 中和/油水分離等	水
		残渣(汚泥)	→ 公共下水道
	各職場 蛍光灯	→ 破砕/選別	→ 埋立もしくはセメント会社へ (セメント原料として再生)
	各職場 水銀灯	→ 破砕/選別	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
ガラスくず・陶磁器くず	製造 土砂類 (溶接スパッタ等)	→ 破砕	→ ガラス関連業者へ (ガラスとして再生)
	各職場 ガラス・陶磁器 砥石くず	→ 破砕	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
木くず	土浦工場 廃木製パレット	→ 破砕/磁気選別/選別	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
	霞ヶ浦工場 廃梱包材	→ 破砕/磁気選別/選別	→ 金属として再生
	龍ヶ崎工場	→ 破砕/磁気選別/選別	→ 木材チップ
		→ 木材チップ	→ 集成材製造業者へ (集成材として再生)
常陸那珂工場 常陸那珂臨港工場	荷受・発送場 廃木製パレット	→ 破砕/磁気選別/選別	→ おがくず
	常陸那珂臨港工場 廃梱包材	→ 破砕/磁気選別/選別	→ 畜産農家、RDFへ
		→ 破砕/磁気選別/選別	→ 固形燃料(RPF)として再生
		→ バイオマス発電燃料	→ バイオマス発電の燃料として供給
		→ ボイラ燃料	→ 製紙会社ボイラ燃料として供給
		→ >金属類<	→ 金属関連業者へ (金属として再生)

注) 混合廃棄物については代表分類で表す。

## 日立建機(株) 環境管理組織



※1. (か) 龍ヶ崎工場  
(な) 常陸那珂工場  
(港) 臨港工場  
(機) 龍ヶ崎工場  
(土) 土浦工場

※2 龍ヶ崎総合研究所

※3 技術研発センター

※4 つくば部品センター

※5 本社(上野)、日立建機ロジテック以外の口開みの組織名で工場名及びサイト名の記載が稀き場合は主が土浦工場である。監査は主の場所で行う。



表 1

(第2画)産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
前年度実績										
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	木くず	総排出量
	排出量	1027 t	849 t	0 t	0 t	336 t	3 t	97 t	108 t	2420 t

表 2

[illegible]








廢棄物分別表 (土浦地区)

[illegible]

## R P F 再資源可燃ごみ

 廃棄物処理法  
2019.6.25

## 廃プラスチック類 非塩ビ系の物に限る

				
ウレタンスポンジ	エンドキャップ	スプレー缶 キャップ	・ガムテープ ・マスキングテープ	・CD ・CDケース
				
発泡スチロール	緩衝剤 発泡スチロール	プラスチック ケース類	結束バンド	・カップ麺容器 ・お菓子の袋



容器包装リサイクル法対象品の出し方注意

容器内を軽くすすぐ、くずを叩いて落とすなど、目で見ても汚れがわからないこと

				
宅配便伝票など のカーボン紙	複写伝票などの ノーカーボン紙	レシートやFAX 用紙の感熱紙	写真	窓付き封筒
				
物流シート	ラミネートされ た書類等	デカールなどの シールの裏紙	マスキング紙	油付・塗料付 段ボール

・マスキング材、油付・塗料付段ボールは乾燥した物で臭いが気にならないこと

・ラミネートされた社外秘以上の文書は切り刻んでください

				
軍手	木綿の手袋	荷札針金・ビ ニール付		

・軍手、手袋類はシンナーの臭いがしないこと

・荷札の芯線0.2mm以下のこと、それ以上は取り外すこと

混ぜればごみ！分ければ資源！

みんなで守ろう地球の未来

分別基準の問合せ先 環境推進室(内線21601)

# 有価廃プラスチック

- 出せるモノ
- ・ ①②③④に分別し透明ビニール袋に入れる
  - ・ 袋には職場、組名を書く

① PPバンド



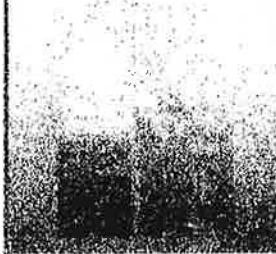
透明ビニール袋

② ストレッチ  
フィルム

透明ビニール袋



③ ポリ袋



透明ビニール袋



④ エアキャップ



透明ビニール袋



## × 出せないモノ

### × 塩ビ系結束バンド

※ 廃プラスチックとして出す



### × 文字等が印刷されているモノ

### × シールが貼ってあるモノ

### × 油、塗料がついているモノ

※ RPF再生可燃ごみとして出す



混ぜればごみ！ 分ければ資源！  
みんなで守ろう地球の未来

分別基準の問合せ先  
環境推進室(内線21601)

(第4面)産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度実績】	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	木くず	総排出量
	全処理委託量	1027 t	849 t	0 t	0 t	336 t	3 t	97 t	108 t	2,420 t
	優良認定処理業者への処理委託量	741 t	612 t		0 t	306 t	3 t	17 t	0 t	1,679 t
	再生利用業者への処理委託量	286 t	237 t	0 t	0 t	30 t	0 t	80 t	108 t	741 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

①現状

表 4

(第5面)産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]